

備前市事務事業評価表

事務事業名	自主防災組織活動支援事業	コード	担当課係	消防防災係
		01-04-02-04	担当者	中島和久
事業実施期間	平成17年～		電話	64-1809
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	安全で安心して暮らせるまちづくり		
	小項目	消防・防災		
	施策	地域防災力の向上		

事業について	
目的	『自分たちの家族やまちは自分たちで守る』という地域住民の防災意識の高揚や地域で防災活動に取り組むことによって、被害を最小限度にくいとめることを目的として、自主防災組織の結成や育成を図る。
対象（誰のために）	自主防災組織を結成している地区住民
内容	メガホン、スコップ、チェーンソウ、バール、担架、非常用食料、ロープ、ヘルメットなど防災活動上必要な防災資機材購入費の助成

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	回数など	回数など	回数など
	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
支援事業助成組織数	15	団体		
市事業助成額	1,950	千円		
コミュニティ事業助成組織数	2	団体		
コミュニティ事業助成額	3,300	千円		
全組織数	51	団体		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	6,874	国庫補助金等	4,200	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,254	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	9,128	市債		合計	0	市債	
		一般財源等	4,928			一般財源等	0	

必要人員	0.33	人
結果指標名	市事業助成組織数	
結果指標量	15	
単位	団体	
対前年比	—	
事業費	2,589,000	円
単位当たりコスト①	172,600	円
結果指標名	コミュニティ事業助成組織数	
結果指標量	2	
単位	団体	
対前年比	—	
事業費	4,382,000	円
単位当たりコスト②	2,191,000	円

事業の成果			
成果指標名	組織率（カバー率）	式又は説明	自主防災組織に属する世帯数÷住民基本台帳の全世帯数
	17年度		
成果指標量	47.1		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	60%	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：災害対策基本法
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	備前市自主防災組織活動事業助成金交付要綱に基づき、助成金を交付することによって、地域での自主防災組織の結成と防災意識の向上が図られることから、今後も防災対策を進めていかなければならない事業である。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	5	結果指標量②	
目標値	結果指標量	50%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	防災士の取得に対する助成を設置	平成20年度	自主防災組織の更なる活動の強化とリーダーの養成

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

00411: 市事業助成額1950千円と宝くじ助成額3300千円の額の事業費6,874千円に占める割合に人件費2,254千円を按分して事業費を算出
 ①2,254*(5,250/6,874)=1,721千円(指標①及び②に占める人件費額)
 ②1,721*(1,950/5,250)=639+1,950=2,589千円(市助成事業事業費)

00411: ①1,721-639=1082+3,300=4,382千円(指標②に占める事業費)